





上) 埋葬時は80cm四方の区画内に深さ60cmの穴を掘り、焼骨を直接土の中に埋葬する

下) 埋葬を終えた自然葬の区画。地目が墓地であるため、埋葬した区画は管理者が自治体に故人の情報を登録するため、その場所に手が加わることは一切ない

熊本県南阿蘇村 つつじ霊園 自然葬の里

管理／雲龍山清水寺

熊本県阿蘇郡南阿蘇村久石47
Tel.0967-62-9088

運営・お問合せ／

くまもと県民葬祭(株)・ファミリースペース東京塚
熊本県熊本市東区東京塚町19-47
Tel.096-386-1059／フリーコール: 0077-78-1059

利用料

- お一人様区画 (80cm四方) 21万円 (2人以上での利用不可)
- ファミリー区画 (160cm四方) 75万円 (4人まで利用可能)
- *利用料には埋葬時の読経料(ご希望の方のみ)が含まれます
- *最初に自然葬の利用料のみ発生しますが、その後の管理費・年会費などは一切必要ありません
- *利用料に+19万円で33回忌までの永代供養セットになります



第1・第2区画／計122区画——完売

第3区画／計101区画——販売中(区画数は80cm四方換算)

第4区画／150区画(見込み)——近日販売開始

見学会開催中 (毎月第3土曜日)

ファミリースペース東京塚を午後1時に出発しつつじ霊園に向かいます。参加無料。要予約(県外からお越しの場合は熊本空港からの送迎も可能)

*宗教、宗派を問わずご利用いただけます

*散骨とは違い遺骨をパウダー状にする必要がないため、ご遺族の抵抗も少ないといえます

つつじ霊園自然葬の里へのアクセス

熊本市内から県道28号熊本高森線を進み、俵山トンネル、あそ望の郷くきのを通過。右手に見える四季の森温泉の先2km地点を右折し、約3.5km山道を登る(右折地点に清水寺への案内板あり／普通車通行可)

*熊本インターチェンジから車で40分目安

*熊本空港から車で30分目安



この自然葬の里は墓地登記されているが、墓石を建てない。土に穴を掘り、遺骨を直接土の中に埋葬するため、遺骨は数年で土に還る。自然に還りたいと願う人、遠方の家族を思い選んだ人、ついすみをか決めて余生を楽しむ人など、さまざまな想いがこの場所には込められている。

「この自然葬の里は墓地登記されているが、墓石を建てない。土に穴を掘り、遺骨を直接土の中に埋葬するため、遺骨は数年で土に還る。自然に還りたいと願う人、遠方の家族を思い選んだ人、ついすみをか決めて余生を楽しむ人など、さまざまな想いがこの場所には込められている。」

「この自然葬の里は墓地登記されているが、墓石を建てない。土に穴を掘り、遺骨を直接土の中に埋葬するため、遺骨は数年で土に還る。自然に還りたいと願う人、遠方の家族を思い選んだ人、ついすみをか決めて余生を楽しむ人など、さまざまな想いがこの場所には込められている。」

「この自然葬の里は墓地登記されているが、墓石を建てない。土に穴を掘り、遺骨を直接土の中に埋葬するため、遺骨は数年で土に還る。自然に還りたいと願う人、遠方の家族を思い選んだ人、ついすみをか決めて余生を楽しむ人など、さまざまな想いがこの場所には込められている。」

後継者がいない自然葬という選択

「一人娘がいますが、今は嫁いで関東に住んでいます。私たちがお墓に入ってしまうと、墓参りの度に娘夫婦の負担になるのではと心配しました。墓のことで子どもに迷惑をかけ

たくない。夫とじっくり考えて、墓の後継者が

必要のないこの自然葬の里に、亡くなった

ら入ろうと決めました。だから、夫婦2人ぶ

ん仲良く隣同士の区画をお願いしました。今

はドライブがてら南阿蘇を訪れて、自分の場

所にお花を植えたりしています。この場所に

立って、阿蘇五岳を眺めては毎回思うんです

亡くなったらここに眠るんだなあって。そう

すると、まだまだこれからの人生を楽しまな

くちゃって元気になれるから不思議ですよ」。

この自然葬の里は墓地登記されているが、

墓石を建てない。土に穴を掘り、遺骨を直接土

の中に埋葬するため、遺骨は数年で土に還る。

自然に還りたいと願う人、遠方の家族を想

い選んだ人、ついすみをか決めて余生を楽

しむ人など、さまざまな想いがこの場所には

込められている。

先祖代々続く墓に入り、子孫が守り受け

継いでゆく——これまでは一般的であった

この墓のあり方が、社会や家族形態の変化か

ら、変わってきている。

少子化や核家族化、都市部への人口集中、

生涯未婚率や高齢者の単独世帯の増加などを

背景に、墓参りや墓の清掃、墓地の管理費を

払い続ける、いわゆる「墓の後継者」がいな

いという問題が顕在化している。行政や関係

団体にも「後継者がなく、墓の後継者がいな

い」都会で暮らす子や孫に負担をかけたくな

い」などの相談が多く寄せられているという。

不安を背景に増える自然葬

こうした死後の墓地に対する不安を反映し

て、県内外からの利用が増えている自然葬霊

園が熊本県の南阿蘇村にある。つつじ霊園自

然葬の里」は、阿蘇・南阿蘇の中腹、標高

700メートルに位置。同里は阿蘇くじゅう

国立公園の特別区域内にあり、国立公園の中

に霊園があるのは全国的にも非常に珍しい。

熊本市内に住む64歳の女性は2年前に、夫

婦でこの自然葬の里を予約した。

後継者がいない自然葬という選択

「一人娘がいますが、今は嫁いで関東に住

んでいます。私たちがお墓に入ってしまうと、

墓参りの度に娘夫婦の負担になるのではと心

配しました。墓のことで子どもに迷惑をかけ

たくない。夫とじっくり考えて、墓の後継者

が必要のないこの自然葬の里に、亡くなった

ら入ろうと決めました。だから、夫婦2人ぶ

ん仲良く隣同士の区画をお願いしました。今

はドライブがてら南阿蘇を訪れて、自分の場

所にお花を植えたりしています。この場所に

立って、阿蘇五岳を眺めては毎回思うんです

亡くなったらここに眠るんだなあって。そう

すると、まだまだこれからの人生を楽しまな

くちゃって元気になれるから不思議ですよ」。

後継者を必要としない墓地

熊本県南阿蘇村

つつじ霊園「自然葬の里」

変わりゆく墓のあり方

先祖代々続く墓に入り、子孫が守り受け継いでゆく——これまでは一般的であったこの墓のあり方が、社会や家族形態の変化から、変わってきている。

少子化や核家族化、都市部への人口集中、生涯未婚率や高齢者の単独世帯の増加などを背景に、墓参りや墓の清掃、墓地の管理費を払い続ける、いわゆる「墓の後継者」がいなという問題が顕在化している。行政や関係団体にも「後継者がなく、墓の後継者がいない」都会で暮らす子や孫に負担をかけたくない」などの相談が多く寄せられているという。

不安を背景に増える自然葬

こうした死後の墓地に対する不安を反映して、県内外からの利用が増えている自然葬霊園が熊本県の南阿蘇村にある。つつじ霊園自然葬の里」は、阿蘇・南阿蘇の中腹、標高700メートルに位置。同里は阿蘇くじゅう国立公園の特別区域内にあり、国立公園の中に霊園があるのは全国的にも非常に珍しい。

熊本市内に住む64歳の女性は2年前に、夫婦でこの自然葬の里を予約した。

後継者がいない自然葬という選択

「一人娘がいますが、今は嫁いで関東に住んでいます。私たちがお墓に入ってしまうと、墓参りの度に娘夫婦の負担になるのではと心配しました。墓のことで子どもに迷惑をかけ